

## ◆ 2023 年 度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名：越谷アリタキ緑の会

26A-10

代表者：会長 圓本 謙次

URL :

### 1. 活動が必要とされた状況

植物学者である故・有瀧龍雄氏が所有していた Aritaki Arboretum は、かつては国際的な植物園自然保護国際機構（BGCI）に登録され、日本では希少な樹木植物園である。2002年に市に遺贈され、2010年に「越谷アリタキ植物園」として開園し、市公園緑地課のもとで、「越谷アリタキ緑の会」が運営・管理に従事している。地域の環境学習・自然観察・情操教育の拠点として魅力ある植物園を目指し次世代に向け活動を継続している。

### 2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

1月末現在の会員数は53名。2023年度（1月～12月）の活動延べ人数は1,875人に及ぶ。毎週水曜日の定例会には毎回20-30名が活動しています。

- ・樹木班：園内をパトロール、有識者の指導を受けながら樹木の剪定、保善管理をしています。植物園の第5報植生調査報告書（第5報）発行に向けて調査開始。
- ・ガイド班：毎週日曜日の午前午後に園内の無料ガイドを行っています。団体客には平日も対応し好評を得ています。
- ・野草班：毎月2-3回活動、園内の草木類の調査、沿道の除草清掃、新設の野草園の植替え作業、保善管理を行っています。
- ・企画広報班：展示室の管理、展示品の手配、秋には協働フェスタ・市民祭りでチラシやパンフレットを配布し、植物園の広報活動に努めている。

2022年6月から始めたコシガヤホシクサの試験栽培は今年も順調に生育した。昨年移植したフジバカマが順調に生育し、今夏はアサギマダラ蝶の飛来が楽しみである。



### 3. 活動の成果

継続は力なりで、小学1～3年生対象の校外授業支援は、今年度も春秋に3校5回行い、過去累計で46校、計4,666名になった。

家族や友達と一緒に訪れるリピーターの子どもの笑顔が活動の糧になっている。

2010年開園以来、仲間たちと一緒に自然に親しみ、学べる植物園づくりに努めてきた成果として、①褒められること ②役に立つこと ③必要とされること、の3つの幸せを実感できる居場所になっている。



見(み)つけた



これなんだろうー

### 4. 今後に残された課題

越谷アリタキ緑の会の活動も10年が過ぎ、会員の高齢化が目立ってきています。活動を継続しながら、植物園づくりを継承する次世代の会員の育成が当面の課題である。